

(様式 1 - 表)

令和 7 年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	21	豊田市立 大畑小 学校	代表	松本さおり
------	----	-------------	----	-------

※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ボランティア、h：伝統文化、iその他（ ）】から選ぶ。

テーマ	進んで伝え合い、認め合い、深め合える心豊かな大畑っ子の育成	分野	f	交流体験
	サブテーマ ～縦割り活動での協働学習、地域との連携や交流活動を通して～	i(その他)は分野を右欄に記入		
学校 点 (ねらい)の 視	<p>恵まれた自然と整えられた学習環境、温かい人情の中で、のびのびと育てほしいという地域や保護者の願いを踏まえ、他学年との交流を大切にした縦割り活動や地域のよさを生かした教育活動を推進する。</p> <p>①縦割りのなかよし班での交流活動を通して、自分や友達、学級、学校、地域のよさに気づき、思いやりの心を育てることができる。</p> <p>②地域の素材(人・もの・こと)を生かし、体験活動や協働学習を進める中で、地域の自然や芸能、歴史等について関心を持ち、自ら学び、考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する力を育てる。</p> <p>③心の悩みや不安をもつ子どもたちや、子育てに悩む保護者の相談活動を通して、子どもたちや保護者の心の安定を図る。</p>			
活動 内容 ・ 計画	<p>①1年生から6年生で縦割りのなかよし班を作り、通年で活動する。学校キャラクターマスコット「ばたっぴい」を通して、全校で地域や学校のよさを認識し、郷土愛を深める。</p> <p>4月…なかよし班出合いの会、縦割り清掃開始、そうじミーティング</p> <p>5月…そうじミーティング、1・6年サツマイモ苗植え</p> <p>6月…草取り活動、そうじミーティング、なかよし班遊び</p> <p>7月…なかよし班遊び</p> <p>9月…なかよし班遊び、そうじミーティング</p> <p>10月…草取り活動、なかよし班遊び</p> <p>11月…大畑フェスティバル、なかよし遠足、遠足ミーティング、1・6年サツマイモ収穫</p> <p>12月…なかよし班遊び</p> <p>1月…そうじミーティング</p> <p>2月…なかよし班遊び、6年生を送る会準備</p> <p>3月…6年生を送る会、そうじミーティング</p> <p>②地域の自然や歴史について、地域の素材等を生かして、学習活動や交流活動を進めたり、各教科領域等の学習活動において、知識・理解や技能等の習得の支援を図ったりする。理科や生活科、総合的な学習の時間等に、学区の豊かな自然やシンボル施設(大畑の森)、栽培園等を有効活用して、自然に親しむとともに、体験や交流活動を行う。</p> <p>③教員と心の相談員とが、常日頃から子どもたちの様子について情報を共有して指導に当たる。また、月毎に心の相談員、教育相談コーディネーター、SC、校務支援員による教育相談会を開催し、子どもたちの様子を共有することで問題の未然防止や、早期の問題解決に努める。</p>			
補助 員 配 置	<p>心の相談員…子ども同士や子どもと教員の関わりをサポートしたり、子どもや保護者との相談活動を行ったりする。</p> <p>校内整備員…安心・安全な校内環境になるよう整備を行ったり、子どもの栽培活動を支援したりする。</p>			
実績 ・ 効果 期待 され	<p>・地域の人や団体等から自然や歴史などを学び、交流することを通して、郷土への理解が深まり、地域の一員であることの自覚が高まる。</p> <p>・自然の場を活かした栽培園やシンボル施設(大畑の森)を活用する体験学習により、自然への愛着が増し、環境を守ろうとする気持ちが広まる。</p>			
検証 方法	<p>・地域の方と交流した生活科や総合的な学習の時間といった各教科領域等の学習活動の中で振り返りを行い、評価につなげる。</p> <p>・学校公開日等における保護者の声を受け止める。</p> <p>・地域の講師等の意見や感想を聞く。</p> <p>・学校自己評価、保護者アンケートを分析し、成果と課題、次年度への改善点を明らかにする。</p>			